

第31期 第3回 中央公民館運営審議会 次第

日 時：令和2年9月2日（水）

午前10時00分から

会 場：中央公民館 4階403・404講座室

1、開 会

2、議題・報告

(1) 事前送付資料についての質問・意見等について（内容説明省略）

- ・公民館の現状について（資料1）
- ・令和元年度事業報告について（資料2）
- ・事業の基本方針（資料3）

(2) 令和2年度の公民館予算・事業について

- ・令和2年度公民館予算について（資料4）
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための公民館対応について（資料5）
- ・令和2年度事業計画および進捗状況について（資料6）

(3) その他

3、閉 会

新潟市の公民館について（令和2年度）

□施設の状況

公民館数 43館

内訳 地区館 25館

うち 中央館 1館 人事、施設、予算等のとりまとめ → 中央
基幹公民館 8館 区で1つ 公民館運営審議会をもつ
→ 豊栄（北区）、中（東区）、中央（中央区）、亀田（江南区）、
新津（秋葉区）、白根（南区）、坂井輪（西区）、巻（西蒲区）
分館 18館

□公民館職員数

職員 130人（内訳：正職員 73人 再任用 17人 非常勤嘱託 40人）

□予算

歳入 35,006千円

歳出 327,771千円

主要事業	家庭教育振興事業	10,078千円
	地域コミュニティ活動事業	2,071千円
	子ども生活体験・ボランティア活動推進事業	1,868千円

□組織目標

市民の生涯にわたる学習活動を支援するために、あらゆる世代が主体的に学習を進められる機会の充実に努めるとともに、現代的・社会的課題に対する市民の意識向上を図り、地域課題の解決と地域活動の活性化を支援します。

※参考

令和元年度実績

事業	主催事業数	694事業
	のべ参加者数	216,057人
貸館	利用団体数	3,998団体
	のべ利用者数	658,513人

公民館体系図

4.3施設
区名

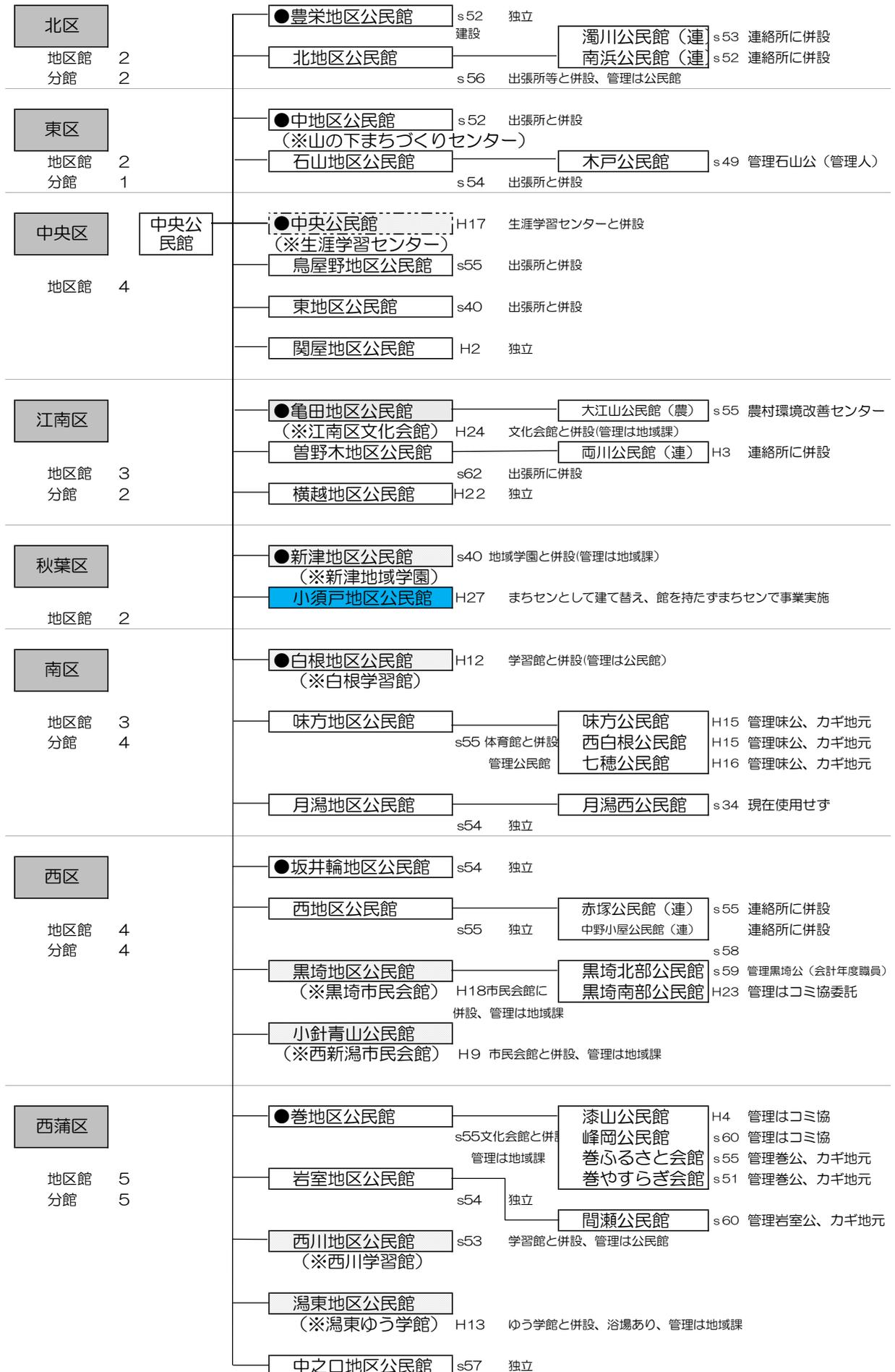
中央館

地区公民館 25

分館 18

備考

●=審議会を設置する公民館(基幹公民館)



※併設館 (2枚看板)

(連) : 連絡所, (農) : 農村環境改善センター 併設している館は、北、白根、西川を除いて出張所、地域課等が施設管理。

公民館の利用状況について
(中央・鳥屋野・東地区・関屋分)

(登録団体数)

	令和元年度		平成30年度		平成29年度	
	定期	不定期	定期	不定期	定期	不定期
中央	270	202	283	198	291	198
鳥屋野地区	99	132	103	133	99	127
東地区	79	37	83	38	88	36
関屋地区	80	53	86	48	87	45
合計	952		972		971	
前年比	△20		+1			

(館ごとの稼働率)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
中央	56.3	59.3	58.9
鳥屋野地区	48.1	50.9	52.6
東地区	31.1	30.8	32.3
関屋地区	40.5	42.0	44.4
4館平均 (%)	44.0	45.8	47.1
前年比	△1.8	△1.3	

(サークル利用者数)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
中央	88,867	96,893	98,467
鳥屋野地区	48,079	51,569	50,729
東地区	32,295	34,285	34,205
関屋地区	29,282	35,771	34,194
合計	198,523	218,518	217,595
前年比	△19,995	+923	

令和元年度 事業実施報告

■ 新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受けた講座

資料2

重点化	館名	No.	新規	居場所	事業名	事業の目的・主旨	開設数	対象	回数	時間帯	参加者数(人)	延べ参加者数(人)	連携					備考	コロナウイルスによる影響		
													学校	地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会	その他	活動協力員				
(前ページのつづき) 2. 学・社・民の融合	東	7	◎		家庭教育学習会	家庭教育小学校出前型(6学年PTAと共催) (笹口小学校)	1	成人	1	午後	82	82	○								
					企画会議	1	成人	1	午前	4	4										
		8			子育て広場「けやきのもり」	子育て支援活動地域小学校出前型	1	総合	6	午前	37	68	○	○	○	○	○	民協、薬局、地域ボランティア			
		9			小学校地域学習事業	学校、地域と連携した環境学習	1	少年	1	午前	47	47	○	○							
	10			中学校出前事業	宮浦中学校卓球部と公民館利用団体との卓球交流	1	高齢者	1	午後	18	18	○	○					公民館利用団体			
					企画会議	1	成人	3	午前	8	12										
関屋	11			チャレンジゼミ	小学校と利用団体と公民館の共催で体験学習を実施	1	少年	1	午前	34	34	○				○					
	12			世代間交流の集い	関屋中学校卓球クラブと利用団体との交流	1	総合	1	午後	44	44	○				○					
3. 家庭の教育力向上	中央	1			乳児期家庭教育学級(第3期)	乳児期の子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育について学び合う機会を提供する	1	成人	5	午前	8	30							中央地域保健福祉センター【保育実施】		
		2			乳児期家庭教育学級(第4期)	乳児期の子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育について学び合う機会を提供する	1	成人	5	午前	22	105							中央地域保健福祉センター【保育実施】		
		3			幼児期家庭教育学級	幼児期の子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育について学び合う機会を提供する	1	成人	4	午前	11	24							【保育実施】		
		4			シングル子育てカフェ	平日講座に参加できない幼児期の子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育について学び合う機会を提供する	1	成人	2	午前	12	26					○		新潟市母子連合会・新潟県母子連合会【保育実施】		
		5			乳幼児期家庭教育学級休日版	平日講座に参加できない幼児期の子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育について学び合う機会を提供する	1	成人	2	午前	16	26					○	○			
		6			ブレママ学校	妊娠中の親が安心して子育てができるように、学習機会を設けるとともに、仲間づくりを進める	1	成人	4	午前	10	22	○	○				○	新潟小		
		7			父親学級	小学生の子どもを持つ父親を対象に、父親が子育てについて学ぶとともに、親子のコミュニケーションを図る	1	成人	11	午前・午後・夜間	28	145						○	新潟市発達障害支援センターJOIN、魚食普及の会(新潟県水産課)、新潟県会館		
		8			中央公民館保育者交流会	保育者と保育室運営等に係る情報交換会	1	成人	1	午前	10	10									
		9		◎		ひよこファミリーらんど	乳幼児と保護者のフリースペース	1	総合	62	午前午後	660	660								3月は中止
		10				子育て学習出前講座	就学児健診や入学説明会など保護者が集まる機会を利用し、家庭教育の大切さを学んでもらう	115	成人	115	午後	7468	7468	○						小学100校 中学15校	
鳥屋野	11				乳児期家庭教育学級 2期	乳児期の家庭教育について考える。(保育あり)	1	成人	5	午前	20	98						○			
	12				児童期・思春期家庭教育学級	児童期・思春期の家庭教育について考える。	1	成人	1	午後	123	123	○								
	13				保育者交流会	保育者との情報交換	1	成人	1	午前	15	15									
東	14				乳児期家庭教育学級	乳児期の家庭教育について考える	1	成人	7	午前	21	125						○	保育実施 保健福祉センター・図書館と連携		
	15			幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育について考える	1	成人	5	午前	16	60							○	保育実施 児童発達支援センターと連携		
					企画会議	1	成人	4	午前	3	9										
	16				幼児期家庭教育学級(特別編)	幼児期家庭教育級の補完事業	1	成人	0	午前	0	0								3月開催コロナで中止	
17				幼児期家庭教育学級 土曜日版	ふれあい遊びを通して、親と子の関わり方について学ぶ	1	総合	3	午前	74	122						○	○	○	地域・学生ボランティア	3月開催コロナで1回中止

令和元年度 事業実施報告

■ 新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受けた講座

資料2

重点化	館名	No.	新規	居場所	事業名	事業の目的・主旨	開設数	対象	回数	時間帯	参加者数(人)	延べ参加者数(人)	連携					備考	コロナウイルスによる影響				
													学校	地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会	その他	活動協力員						
3. 家庭の教育力向上	東	18	◎		子育てサロン	子育ての情報交換と交流	1	総合	36	午前	61	517		○	○	○	○	地域ホフンアリア、転本を楽しむ会、東地域保健福祉センターと連携	3月開催コロナで中止				
		19			保育者交流会	保育者との保育室運営等に係る情報交換	1	成人	1	午前	11	11											
	関屋	20			乳児期家庭教育学級(ゆりかご学級)	乳児期の家庭教育のあり方を考える	1	成人	5	午前	18	82							保育実施				
		21			幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育のあり方を考える	1	成人	3	午前	13	32							保育実施				
						企画会議	1	成人	1	午前	6	6											
22	◎		子育てネットまつぼっくり	子育て交流や情報交換を行う	1	総合	50	午前		421	421							3月は中止					
4. 青少年の健全育成	中央	1			子ども体験教室① 苔玉づくり	家庭や学校では出来ない経験や他校の児童と交流することで、社会性を育み、健全育成を図る	1	少年	1	午前	24	24					○						
		2			子ども体験教室② ゆいぼーとデイキャンプ	家庭や学校では出来ない経験や他校の児童と交流することで、社会性を育み、健全育成を図る	1	少年	1	午前・午後	29	29					○	○	ゆいぼーと				
		3	◎		NASスポーツクラブ連携「着衣水泳教室」	NASスポーツクラブとの包括連携協定に基づく第1号事業として、子どもの緊急時の対応を学ぶ	1	少年	2	午前	64	64					○		NASスポーツクラブ新潟				
		4	◎		NASスポーツクラブ連携「護身術」	NASスポーツクラブとの包括連携協定に基づく第1号事業として、子どもの緊急時の対応を学ぶ	1	少年											NASスポーツクラブ新潟	中止			
		5			防災キャンプ！公民館に泊まってあそぼう	防災意識の向上と学校の異なる子ども同士の交流	1	少年	1	午前・午後・夜間	12	12						○					
		6	◎		子どもの居場所づくり	公民館に学校や家庭以外の空間を設け、地域の大人と子どもがふれあう場を提供する	1	少年	53	午後		237	237										
	鳥屋野				子ども体験事業	セミの羽化観察会 in 県庁の森	1	総合	1	夜間		57	57						○				
						とやの handmade 教室	1	少年	1	午前		17	17										
						電気ものづくり教室	1	少年	1	午後		20	20								○		
						とやのガンブラ教室	1	総合	1	午後		20	20										
		11	◎		学習室開放事業	学習意欲のある中学生に自習室を提供する。	1	少年	234	午前・午後		31	67								3月後半中止		
		12	◎		子どもの居場所づくり 小中高生フリースペース「とやの～び」	とやの～び「談話コーナー」の場を提供する。	1	少年	38	午後		178	178					○			3月後半中止		
		13	◎	◎	小学生向け夏休み勉強会	夏休みに小学生が宿題など勉強する場を提供する。	1	少年	4	午前		10	17										
東				キッズ・サイエンス	科学への興味・関心を喚起	3	少年	2	午前・午後		44	44		○				○		3月開催コロナで1回中止			
					企画会議	3	成人	5	午前		5	5		○				○					
				わくわくキッズ	体験活動を通して自ら考える力を養うとともに、異年齢交流や仲間づくりを図る。	1	少年	1	午前・午後		16	16			○			○	○	地域ボランティア			
					企画会議	1	成人	4	午前・午後		3	11											
				青少年の居場所づくり事業 夏休みイベント	長期休み期間を公民館で過ごしてもらいきっかけをつくる	1	総合	4	午前・午後		31	66						○	○	地域ボランティア			
企画会議					1	成人	3	午前・午後		5	13												
17				青少年の居場所づくり事業 冬休みイベント	長期休み期間を公民館で過ごしてもらいきっかけをつくる	1	総合	1	午前		4	4											

令和元年度 事業実施報告

■ 新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受けた講座

資料2

重点化	館名	No.	新規	居場所	事業名	事業の目的・主旨	開設数	対象	回数	時間帯	参加者数(人)	延べ参加者数(人)	連携				備考	コロナウイルスによる影響			
													学校	地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会	その他			活動協力員		
(前ページのつづき) 4. 青少年の健全育成	東	18	◎		青少年の居場所づくり事業 小・中・高生のフリースペース	小・中・高生の放課後の居場所づくり	1	少年	319	午前・午後	597	597						3月開催コロナで中止			
		19	◎		青少年の居場所づくり事業 中・高生の学習室	中・高生の放課後の学習室	1	少年	319	午前・午後	37	37						3月開催コロナで中止			
	関屋	20				わくわくランド	小学生が体験活動をおとして、他校・他学年との仲間づくりをする	1	少年	5	午前	33	142					○			
						企画会議		1	少年	2			3	6							
		21				将棋クラブ	小学生が将棋をおとして、他校・他学年との仲間づくりをする	1	少年	17	午前	26	246					○	3月は中止		
		22				文字と書道に親しもう	ふだん使っている文字(漢字・ひらがな)の成り立ちや意味などを考え、書道の楽しさを知る	1	少年	2	午前	2	10	20							
		23				夏休み子ども体験教室	簡単な工作を体験し、ものづくりの楽しさを味わう	3	少年	3	午前	3	94	94							
		24				冬休み子どもお楽しみ広場	長期休みに映画や人形劇を楽しんでもらう	1	少年	2	午前	2	101	101					○		
		25				あそぼうさい避難所宿泊体験	災害に関する知識を学び、防災意識を育む	1	少年	1	午前・午後・夜間	1	27	27					○		
							企画会議		1	少年	2	夜間	2	4	8						
26		◎		座・オアシス	小中高生の放課後や休日の居場所	1	少年	343	午前・午後・夜間	1	4,396	4,396						3月は児童・学生中止			
27		◎		学習室開放事業	中高生の学習室	1	少年	110	午前・午後・夜間	1	895	895						3月は児童・学生中止			
5. 高齢者の学習・社会参加	鳥屋野	1			とやの長寿学級	高齢者の健康と生きがいをテーマに学習機会を提供する。	1	高齢者	2	午後	2	120	120					○	3月中止		
		2			輝け!!セカンドライフ(活動協力員企画事業)	シニア世代がいつまでもいきいきと過ごしていくためのきっかけづくりをする。	1	成人	4	午後	4	27	107					○			
	東	3			団塊世代対象事業	自立可能な、また、主体的な生活の確立を目指すとともに新たな仲間づくりを図る	1	成人	4	午後	4	129	259					○	民間団体(サイエンスフェにいがた)と連携		
							企画会議		1	成人	3	午前・午後	3	7	16						
	4				大人の文化講座	高齢者の生活を豊かにするため、日常生活の中の文化を考え、知識や技能を習得する。	3	成人	3	午後	3	57	57					○	社会人グループ・1回コロナで中止		
関屋	5				ほがらか学級	健康で幸せなシニアライフに必要な知識、情報を楽しく学ぶ	1	高齢者	4	午前	4	48	154								
6. 現代的課題	中央	1			ユースセミナー	20代の青年を対象として、社会人のスキルを学ぶ機会を提供する	1	青年	4	夜間	4	16	50								
		2			懐かしのオリンピック・パラリンピック	高齢者を対象として、ニーズに応じた講座を開催	1	高齢者	3	午後	3	63	63					○	活動協力員協働事業		
		3		◎		みんなのふれあい広場	地域の情報交換・交流の場	1	総合	22	午後	22	311	311					○	3月は中止	
	鳥屋野	4				とやの地域学	鳥屋野地域の歴史から現在の生活に至るまでの様々な鳥屋野を学ぶ。	1	成人	4	午後	4	23	81					○		
		5		◎		鳥屋野湯の自然を楽しむ	市街地に隣接し、豊かな自然が残る鳥屋野湯について学ぶ。	1	総合	1	午前	1	13	13						○	
		6		◎		サークル育成事業(映画を楽しむ)	サークル活動につながるきっかけづくりをする。	1	成人	4	午後	4	169	169					○		
		7				東京オリンピック・パラリンピック機運醸成	東京オリンピック・パラリンピック開催を迎えるにあたり、海外諸国について学ぶとともに国際理解を深める。	4	総合	4	午後	4	45	45					○		
		8		◎		親子であったかスポーツ	体も心も暖まり寒い冬を乗り切るために、親子で一緒に運動する。	1	総合	1	午前	1	19	19							

令和元年度 事業実施報告

■ 新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受けた講座

資料2

重点化	館名	No.	新規	居場所	事業名	事業の目的・主旨	開設数	対象	回数	時間帯	参加者数 (人)	延べ参加 者数(人)	連携					備考	コロナウイルス による影響					
													学校	地域教育コ ディネーター	コミ協・自治 連・老人会	その他	活動協力 員							
6. 現代的課題 (前ページのつづき)	東	9			地域活性化支援事業	現代社会の抱える問題について考え、地域活性化に生かすための知識を習得する	1	成人	0	夜間	0	0						○		3月開催コロナで中止				
						企画会議	1	成人	1	午後	1	1								○				
	関屋	10			囲碁入門教室	囲碁の基礎を学びながら、地域の大人と子どもの交流を図る	1	総合	17	午前	16	221							○		3月は中止			
						関屋モーニングサロン	市民による講座の企画・運営と講座の開催	1	成人	6	午前	120	615											3月は中止
							企画会議	1	成人	15	午後	8	95											
◎	12			健康公開講座	健康についての知識を身につける	1	総合	1	午後	33	33	○												
					防災教室	防災についての知識を身につける	1	総合	3	午後	21	45												
◎	13					企画会議	1	総合	1	午後	2	2												
7. その他	中央	1			文化祭	学習サークル作品展示、活動発表	1	総合	1	午前・午後・夜間	1,736	1,736						○	使用団体連絡協議会と共催					
						2		自主グループ育成事業	団体活動の支援	1	総合	6	午前・午後・夜間	40	40									
	鳥屋野	3			文化祭	美術文芸・音楽芸能・交歓の広場、お茶席ほか	1	総合	1	午前・午後・夜間	1,423	1,423												
						4		自主グループ育成・支援事業	自主グループの育成・活動支援	1	総合	4	午前・午後・夜間	174	200						○			
	東	5			文化祭	利用団体の学習成果の発表と団体相互の親睦を図る（利用団体連絡協議会と共催）	1	総合	5	午前・午後	1,093	1,093						○	○	公民館利用団体協議会				
						6		グループ活性化事業 サークル見学・体験会	公民館利用グループでの体験教室	1	総合	0	午前・午後・夜間	0	0								公民館利用団体協議会	3月開催コロナで中止
						7		自主グループ育成事業	自主グループの育成及び支援	1	総合	1	午後	10	17						○		公民館利用団体	
	関屋	8			初級登山教室	安全で楽しい登山のため知識・技能を習得する	1	成人	6	夜間	22	120							○					
						企画会議	1	成人	4	夜間	8	32												
		9			活動協力員協働事業	活動協力員との事業企画・実施	1	成人	1	午前	24	24							○					
						企画会議	1	成人	3	午後	6	18										活動協力員事業		
10				自主サークル育成・支援事業	サークルの育成及び活動支援	1	総合	7	午前・午後	2	2						○							
11				文化祭	利用団体が学習の成果を発表するとともに、団体相互の親睦及び地域住民との交流を図る	1	総合	1	午前・午後	922	922						○							
居場所を除く合計							237		439		16,570	19,439	17	12	12	40	31							
居場所合計							13		1,002		7,985	8,539	0	1	1	4	1							

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため影響を受けた講座内訳

- 中止となった事業・・・4講座
- 講座プログラムの一部が中止となった事業・・・21講座

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	1事業 高齢者支援事業1				2事業 青少年対象1, 地域交流1			
ねらい	参加者同士の交流や、健康増進等の学習を通して公民館講座を楽しくむきっかけを提供し、高齢者たちが充実した日々生活をおくれるよう支援する。				現代社会が抱える課題に対し、事業を通じて世代別に働きかけ、学習や交流機会の場を提供することで、生きがいや楽しみを持って、日常を送れるよう支援する。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	—	—		サークル結成数	1	1	ユースセミナー
	企画委員希望者数		—		企画委員希望者数		2	ユースセミナー
	受講者の満足度(平均値)	80%	89		受講者の満足度(平均値)	80%	100%	
	受講者の気づき(平均値)	80%	61		受講者の気づき(平均値)	80%	85%	
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	超高齢社会の課題解消として、高齢者への働きかけは重要		必要性(平均値)	4	各世代の課題や、その時々のトレンドを扱える事業	
	有効性(平均値)	4	高齢者の中でも年齢層が広いのでメニュー設定は要検討		有効性(平均値)	3.5	対象世代のニーズに絞った構成により、目的を明確化	
	効率性(平均値)	3	運営方法など、公民館側には改善の余地がある		効率性(平均値)	3.4	活動協力員やボランティアと役割分担し企画・運営	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	高齢者と一括りにしていたが、超高齢社会において高齢者の年代層は幅広く、メニュー設定にも細かな配慮が必要と感じた。				ユースセミナーについては、集めにくいと思われる青年層の獲得にある程度成功していると考えますが、もう一段階、集客を伸ばしたいところ。情報を受け取った側が、楽しそうに思える工夫を追求していきたい。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		1				2		
	<コメント> 高齢者が関心を持つテーマで実施したことで、多くの方から参加いただけた。これからも参加しやすい内容で実施し、外出の機会を提供したい。				<コメント> 各年代に合わせたテーマ設定をし、現代的課題の解決方法を提供できる事業を実施していきたい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

〇〇区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

令和元年度事業評価シート(鳥屋野地区公民館)

総事業数(25) 1. コミュニティ(4) 2. 学社民(2) 3. 家庭教育(3) 4. 青少年(7) 5. 高齢者(2) 6. 現代的課題(5) 7. その他(2)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	4事業 地域福祉1、少子化対策2、転勤者向け1				2事業 出前講座1, 連携イベント1				3事業 家庭教育3				7事業 体験活動5、居場所2							
ねらい	地域住民の学習・交流や地域と連携した事業を通して、地域コミュニティの活性化・地域課題への取り組みに寄与する。				学校・地域・公民館が協働で事業を実施することにより、地域との連携を継続しながら、地域づくりを推進する。				家庭教育の実施や居場所の設置により、親同士の仲間づくりを進めるとともに、講座終了後も学習継続を支援し、子育ての不安や悩み等を軽減する。				青少年の生きる力を育むため、青少年の体験活動や異年齢交流等を推進する。 小中高生を対象に学校や自宅以外の居場所を提供し、自由な活動や学習のスペースを、安心して享受してもらう。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数	1	1	乳児期で1つ結成	サークル結成数							
	企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/						
	受講者の満足度(平均値)	80%	99%	少子化対策の子育てサロン以外の事業で実施し、高い満足度だった。	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	出前講座で実施。高い満足度だった。	受講者の満足度(平均値)	80%	93%	各事業とも高い満足度を得られた。	受講者の満足度(平均値)	80%	99%	体験活動講座で実施し、高い満足度を得られた。				
	受講者の気づき(平均値)	80%	94%	少子化対策2事業以外で実施。	受講者の気づき(平均値)	80%	100%	出前講座で実施。	受講者の気づき(平均値)	80%	87%	各講座で目標値以上だった。	受講者の気づき(平均値)	80%	93%	体験活動講座の4事業で実施				
その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/		ゆりかご学級文集の2乳児期講座で作成し、それが自主サークル化につながった。	その他成果(品)及びその活用等	/							
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	3.8	地域にとって必要な事業となっている。			必要性(平均値)	3.5	地域と連携して実施できる事業であり、公民館としての役割をしっかりと果たすことができる。			必要性(平均値)	4.0	育児中の母親の仲間づくりや不安解消に実施していくことが望ましい。			必要性(平均値)	4.0	子ども向けに長期休暇に実施する事業は、満足度も高く継続が望ましい。また、居場所事業も多く活用されている。		
	有効性(平均値)	4.0	コミ協などの地域団体や公民館利用団体との連携を図った。			有効性(平均値)	4.0	学校、PTA、教育コーディネーターと連携し事業実施できた。			有効性(平均値)	4.0	児童期・思春期講座を中学校の新1年生の保護者向け説明会の前段で開催できた。			有効性(平均値)	3.9	体験活動は、様々なジャンルの講座を実施しており、子ども達のニーズに対応している。		
	効率性(平均値)	3.6	他団体・保健センターなどとの連携により、効率的に運営できた。			効率性(平均値)	4.0	役割分担を事前に協議し、効率的に進めることができた。			効率性(平均値)	4.0	効率的に実施できた。			効率性(平均値)	4.0	長岡高専の出前講座を活用し、効率化を図った。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	地域の課題や要望などの情報を収集しながら、公民館として支援できるものを考えていくことが必要である。				学校、地域教育コーディネーターと情報を密にしなが、効率的で有効な事業運営をしていくことが望ましい。				児童期・思春期講座は、参加者増のためにも、引き続き中学校との連携を考えていくことが良い。				子ども体験事業は好評なので、毎年度、有効性・効率性も考えながら実施していくことが望ましい。居場所事業のフリースペースは、地域の小中高生の安らげる場所となっており、引き続き周知を図っていく必要がある。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D				
		4				2				3				7						
評価区分	<コメント> さらに地域、他機関・他団体との連携を模索し、地域づくりの一助となる事業となるように努めていきたい。				<コメント> 学・社・民の融合は、教育委員会・公民館で重視している事業である。さらに地域の力を引き出しなが、事業を進めていきたい。				<コメント> 必要な講座だが、保育付き事業は、予算・人員を多く投入する事業であり、今後、実施手法・回数などの見直しも考えていく必要がある。				<コメント> 子ども体験事業は、ニーズも大きく、経費を大きくかけずに実施できる事業であり、継続していくことが望ましい。居場所づくりのフリースペースは、地域の小中高生生の放課後過ごせる場として有効であり、継続していくことが望ましい。							
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	2事業 生きがいつくり2				5事業 地域学1、サークル育成1、その他3			
ねらい	高齢者の健康寿命の延伸や生きがいつくりを支援する。また、事業を通して仲間づくりを図り、地域活動につなげる。				地域を知る地域学、地域の自然を観察する講座などにより、地域ニーズに対応する。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数				サークル結成数	1	1	サークル育成事業で結成することができた。
	企画委員希望者数				企画委員希望者数			
	受講者の満足度(平均値)	80%	94%	輝けセカンドライフの事業で実施	受講者の満足度(平均値)	80%	99%	各事業とも高い満足度を得られた。
	受講者の気づき(平均値)	80%	83%	輝けセカンドライフの事業で実施	受講者の気づき(平均値)	80%	95%	全講座で、目標値以上だった。
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4.0	高齢者の健康・生きがいつくりは市の重点施策のため、必要度は高い。		必要性(平均値)	3.5	現代的課題やその時々でのニーズを捉えて実施できた。	
	有効性(平均値)	3.5	内容を盛り込みすぎたものやニーズに合致しないものがあった。		有効性(平均値)	3.7	地域学は、企画委員と協議し内容を検討できた。また、興味を膨らませることができた講座を多く実施できた。	
	効率性(平均値)	4.0	無料の講師派遣などにより、効率化を図った。		効率性(平均値)	4.0	市・県の国際交流員を講師として実施できた講座があった。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	高齢者の健康づくりや生きがいつくりは、市の重点施策となっており、今後も、他団体などと連携しながら、有効性・効率性を考えながら実施していくことが望ましい。				各講座とも、参加者の満足度が高く、地域の魅力発掘やニーズに対応する講座を開催することができた。今後も様々な情報を集めながら、その時々にあったこささを10ししていく必要がある。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		2				2		3
	<コメント> 公民館事業に目を向ける高齢者のニーズに合う事業を、さまざまな情報をとらえながら企画していくことが必要である。				<コメント> 地区館として、地域情報を発信するとともに、現代的課題・地域的課題をとらえながら、事業を企画していくことが必要である。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

中央公民館運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

令和元年度事業評価シート(東地区公民館)

総事業数(26)

1. コミュニティ(3) 2. 学社民(6) 3. 家庭教育(6) 4. 青少年(5) 5. 高齢者(2) 6. 現代的課題(1) 7. その他(3)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	3事業 江東コミュニティ研修会, お寺でゴー ン, 地域学振興事業				6事業 家庭教育学習会3, 子育て広場「けや きのもり」, 小学校地域学習事業, 中 学校出前事業				6事業 乳児期家庭教育学級, 幼児期家庭教 育学級および土曜日版と特別編, 子育 てサロン, 保育者交流会				5事業 キッズサイエンス, わくわくキッズ, 青 少年の居場所づくり事業3,							
ねらい	1. コミュニティ協議会と共催し、集団での体験活動とおし 基本的な生活習慣・社会性を身につける 2. 地域の歴史や文化など地域の魅力の発見から地域づく りの活動につなげ、地域の活性化を図る				1. 学校・PTA・公民館の連携強化により、地域全体の教育 力向上につなげる 2. 学校・家庭・地域と公民館の連携により相互の果たす役 割と協働のあり方を学ぶ				1. 子育ての育児不安の軽減と仲間づくりを進める 2. 子育て支援ボランティアの育成を図る				1. 体験活動を行い、知的好奇心を育み、創造力豊かな子どもを 育てる 2. 子ども同士の交流、子どもと大人(指導者・学生)の交流の場と し、相互理解を図る 3. 子どもが自ら遊び方を工夫することで、考える力を養う							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル 結成数				サークル 結成数				サークル 結成数	1	1	継続して子育ての情報 交換や仲間づくりをして いる。	サークル 結成数							
	企画委員 希望者数		7	活動協力員、地域ボラ ンティアとの企画会議を 実施	企画委員 希望者数		19	活動協力員、ボランテ アとの企画会議を実施 学校。	企画委員 希望者数		6	活動協力員や子育て支 援ボランティア等との企 画会議を実施。	企画委員 希望者数		14	活動協力員や地域ボラ ンティアとの企画会議を 実施。				
	受講者の満 足度(平均値)	80%	98%	お寺でゴーンは、寺の 宿泊、銭湯の入浴は、 非日常で楽しめた。	受講者の満 足度(平均値)	80%	98%	学校との連携を図れた ので、保護者の求める 内容だった。	受講者の満 足度(平均値)	80%	97%	講師は、育児に向き合 う受講生の気持ちにこ たえてくれた	受講者の満 足度(平均値)	80%	98%	体験・実験で科学に興 味を持ち、考える力を育 んだ				
	受講者の気 づき(平均値)	80%	88%	地域づくりに、興味を持 つきっかけとなった。	受講者の気 づき(平均値)	80%	95%	授業とは違い、家族の スキップを図る良い 機会になった	受講者の気 づき(平均値)	80%	96%	受講を通じて、サークル を作るまでの共感が 生まれた。	受講者の気 づき(平均値)	80%	84%	見て、触って、学んで新 しいことにチャレンジし た。				
	その他成果 (品)及びそ の活用等				その他成果 (品)及びそ の活用等				その他成果 (品)及びそ の活用等				その他成果 (品)及びそ の活用等							
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性 (平均値)	4.0	地域への理解を深め、地域課 題を考える事業として必要。			必要性 (平均値)	3.8	地域の子どもの育ちを社会で支援 する事業として必要。			必要性 (平均値)	4.0	育児不安の軽減、仲間づくりのた めに必要である。			必要性 (平均値)	3.7	子どもの学びへの興味を喚起 することに寄与している。		
	有効性 (平均値)	4.0	住民、団体との連携により有効な 事業展開が出来た。			有効性 (平均値)	4.0	PTA、コーディネーター、コミ協や民児 協と連携して事業を運営。			有効性 (平均値)	4.0	企画委員に、先輩受講生になっ てもらい講座に奥行を持たせる			有効性 (平均値)	2.9	居場所は、参加人数が前年度を 下回ったのでPRが必要である		
	効率性 (平均値)	4.0	ボランティアを活用し経費負担を 抑え効率的に運営できた。			効率性 (平均値)	4.0	PTA行事、ふれあいスクールに公 民館を活用してもらった。			効率性 (平均値)	4.0	限られた経費で適切な講師選定 が出来た。			効率性 (平均値)	3.4	キッズはボランティアの協力 により安心してに運営できた。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	「お寺でゴー」は、3-6年生の対象事業。今回は5年 生が最高学年であった。宿泊事業・学校間交流を図 るため、事業が低年齢化しないようにリーダー的存 在の6年生の参加を希望する。 地域学は、現役世代が出席できるように土曜日開催 としたが参加者の多くが高齢者であった。現役世代 に関心を引くような工夫が必要である。				中学校出前は、公民館利用団体と中学校の共通し た卓球を通じて交流を図った。次年度以降も継続的 開催できるよう取り組む。良い前例として、他の利用 団体にもPRをする。地域型ふれあいスクールで開催 した子育て支援事業は、一定の成果を上げたため廃 止。廃止した子育て支援事業は同所で開催予定の コミ協の子育て支援事業を支援する。				子育ての悩みは尽きない。戸惑いながら育児をして いる母親の気持ちに寄り添いながら、乳幼児期の家 庭教育を進めていく。 土曜日版は、外出に難のある冬場に親子レクを通じ てスキップを図る目的は理解できるが、積雪時 の駐車対策ができない1月4日開催は、開催日を変 更するなど検討が必要である。				キッズサイエンスは、科学監修がない素人による 開催のため、安全な活動ができるように事前の実験 が必要である。また、科学に詳しい人の相談先を見 つけること。わくわくキッズは、施設外で行うので下 見など行う配慮が必要である。 居場所は、利用数が下降しているので参加者を増や す工夫が必要である。							
館長 評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D				
		3				5		1		6				5						
評価区分	<コメント> 江東地区は、新潟の中心地であり土着 性が強く、地域愛が深い。社会を支え、共に生きる 力を育てるように、公民館は、地域と連携して多世 代交流を図る。若年者には地域に関心を抱き、大人 には地域の重要な担い手であること意識してもら				<コメント>、中学校との交流は公民館利用団体の 新たな活動として期待が持てる。子育て支援事業 は、利用者への直接支援からコミ協と連携を図り間 接的に後方支援で継続する。				<コメント> 家庭教育は、公民館事業の根幹であ る。受講者の意識は高く、交流が深まりサークル化 になりやすい。また、協力してくれる保育者、サロ ンサポーターは、駐車場がない当館にとっては貴重な 存在である。先細りにならないように補充に努める。				<コメント> キッズサイエンスは新型コロナの影響 で1回中止になった。居場所の利用者が減衰したの で次年度は万代高校などに声掛けをする。わくわく キッズに参加したレポートが全国規模のコンテストで 入賞する。今後の取り組みに自信がつく							
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	2事業 団塊世代対象事業、大人の文化講座				1事業 地域活性化支援事業			
ねらい	1. 学習意欲を喚起し、社会参加や今後の生き方を考える。 2. 団塊世代に対し、自立可能な、また主体的な生活の確立を目指すとともに新たな仲間づくりを図る。 3. 高齢者の生活を豊かにするため、日常生活における文化を考え、知識や技能を習得する。				1. 地域の人たちが、なぜこの沼垂という地域を大切にしているのか、その中で物作りをし、自ら発信していく思いを聞き、地域の魅力に触れる機会とする。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数				サークル結成数			
	企画委員希望者数		7	活動協力員、地域ボランティア等との会議を実施	企画委員希望者数		1	活動協力員との会議を実施
	受講者の満足度(平均値)	80%	85%	一般の人にもわかりやすい説明なので、長時間飽きずに聴講できた	受講者の満足度(平均値)	80%	0%	未実施
	受講者の気づき(平均値)	80%	74%	ただ、深掘すると専門的になると理解できない	受講者の気づき(平均値)	80%	0%	未実施
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4.0	高齢者の知的好奇心を満足させ、仲間づくりを図るため必要。		必要性(平均値)	0.0	未実施	
	有効性(平均値)	3.0	受講者のニーズに沿ったプログラムを提供できた。		有効性(平均値)	0.0	未実施	
	効率性(平均値)	4.0	限られた予算の中で、講座の質の高さを維持できた。		効率性(平均値)	0.0	未実施	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	サイエンスカフェは、講師との事前に入念な打ち合わせをするが伝え漏れもあったため、今後はトラブル防止に心がける。 11月から2月にかけて開催した大人の文化講座とサイエンスカフェは2時間(1コマ)で換算すると8コマをする。そのほかにもこの時期に事業があり、担当割振りと行事の平準化が必要である。				地域活性化は、公民館向きの事業だが担当の体調不慮と企画が煮詰まり空転した。コミ協との共催で、3月に開催するところまで漕ぎつけたときに新型コロナの影響で中止になった。 中止は仕方ないが、年度末の3月まで引つ張ることがなかったら開催できた事業である。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		2				1		
	<コメント>サイエンスカフェ(団塊世代)は、ボランティアが事業提案、企画、講師交渉、宣伝等細部にわたり力を発揮する。文化講座は、オーソックスな公民館事業で安定したニーズがある。新型コロナで1回中止。				<コメント> 3月までに開催できるように。活動協力員と企画を進めていたが、職員が体調不慮になったことと、協力依頼を予定していた店がすでに閉店していたため、振出しに戻る。計画的に開催ができるように検討する。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

〇〇区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

令和元年度事業評価シート(関屋地区公民館)

総事業数(26) 1. コミュニティ(4) 2. 学社民(2) 3. 家庭教育(3) 4. 青少年(8) 5. 高齢者(1) 6. 現代的課題(4) 7. その他(4)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	4事業 地域振興2、児童育成1、子育て1				2事業 児童健全育成1、世代間交流1				3事業 家庭教育学級2、居場所1				8事業 体験活動6、居場所2							
ねらい	地域住民に、地域の歴史、文化、課題などの学習機会を提供することで郷土愛を育て、地域課題に取り組む人材や団体を育成支援する。また地域住民の交流を図り、青少年の健全育成と子育て支援に取り組む。				学校、公民館利用団体などと連携・協力して、それぞれの役割の中でできることを分担して事業を行うことで、地域住民の交流促進と住み心地のよい地域づくりに貢献する。				家庭教育の自主性を尊重しながら、学習の機会、情報、交流の場を提供することで、家庭教育を支援する。				青少年の活動体験や、異年齢交流などにより、青少年や子どもの健全育成を図る。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数	-	-		サークル結成数	-	-		サークル結成数	1	1		サークル結成数	-	-					
	企画委員希望者数		10	「おも知る関屋学」を企画委員の企画・運営で開催	企画委員希望者数		1	少数ではあるが、委員の尽力で講座を開催	企画委員希望者数		1	特になし	企画委員希望者数		8	多くの方から講座への支援を頂けた				
	受講者の満足度(平均値)	80%	93%	「おも知る関屋学」で高い評価を得た	受講者の満足度(平均値)	80%	-	単発での講座のため、アンケートは未実施	受講者の満足度(平均値)	80%	97%	乳児期、幼児期とも高い評価を頂けた	受講者の満足度(平均値)	80%	95%	体験型の講座で高い評価を頂いた				
	受講者の気づき(平均値)	80%	92%	「おも知る関屋学」「お寺でゴンド」評価を得た	受講者の気づき(平均値)	80%	-	単発での講座のため、アンケートは未実施	受講者の気づき(平均値)	80%	100%	乳児期、幼児期とも高い評価を頂けた	受講者の気づき(平均値)	80%	84%	概ね目標値を達成				
その他成果(品)及びその活用等			企画委員を講師として派遣	地元小中学校から依頼を受けており、地域活性化に寄与している			公民館利用団体の参画	児童生徒と公民館利用者の交流促進を図ることができた。			自主活動グループの結成	保健所等の他機関と連携して自主活動グループを支援していきたい			公民館利用者以外の委員参加	市職員の視点とは異なる見方で講座を開催できた				
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	4	地域の実情を知り、その活性化に不可欠な事業となっている。			必要性(平均値)	4	学校と地域住民の連携強化の面で必要な事業となっている。			必要性(平均値)	4	子育てに必要な知識取得、情報共有の場として再認識、			必要性(平均値)	4	家庭や学校では経験できない講座で、子どもの健全育成が図れる。		
	有効性(平均値)	4	地域連携、相互理解が深まり、人材育成にも役立っている			有効性(平均値)	4	地域づくりの推進に役立っている			有効性(平均値)	4	自主活動グループの結成			有効性(平均値)	4	自分が属する学校の枠を超え、他年代との交流を体験できた		
	効率性(平均値)	4	活動協力員との連携で効率的な運営を行えた。			効率性(平均値)	4	地域教育コーディネーターの尽力で効率よく運営できた			効率性(平均値)	4	市職員等の活用により効率性に努めた			効率性(平均値)	4	ボランティアの発掘により、効率的な運営を図った		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	特に「おも知る関屋学」は好評を得ている。各講座とも、より多くの方に参加を頂けるよう、広報活動に力を入れていきたい。				学校との共催であるため制約も多いが、継続することで信頼関係を深めていきたい				自主活動グループが結成されても、参加者の育休明けとともに休眠するケースもみられ、その支援が課題				体験活動では、支援団体との連携が重要であり、今年度の反省点を踏まえながら、より良い事業を展開していきたい。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D				
		4				2				3				8						
評価区分	<コメント> 地域の絆、愛着を深めることに役立っている。これからも地域コミュニティ活動の活性化に取り組んでいきたい。				<コメント> 学校、公民館利用団体と協力して事業が行われており評価できる。今後も継続することで参加者の相互理解を深めていきたい				<コメント> 少子高齢化の時代に、乳児期、幼児期の家庭教育への支援は必要。今後も改善しながら継続したい				<コメント> 様々な体験をととして、他校、他学年と交流できる場であり、子どもの健全育成の上で必要な事業							
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	1事業 高齢者事業1				4事業 世代間交流1、教養講座3			
ねらい	高齢者の交流促進を図るとともに、講座の実施により生きがいつくりや社会参加を支援する。				企画委員、地域住民とともに現代的課題を考えそのテーマに沿った講演会、学習会を開催することにより現代的課題の解決を図る。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	-	-		サークル結成数	-	-	
	企画委員希望者数	/	0		企画委員希望者数	/	14	企画委員を中心に講座を開設できている
	受講者の満足度(平均値)	80%	77%	概ね目標値を達成	受講者の満足度(平均値)	80%	95%	モーニングサロン、防災教室で高い評価
	受講者の気づき(平均値)	80%	63%		受講者の気づき(平均値)	80%	100%	防災教室で高い評価
その他成果(品)及びその活用等	/	高齢者のネットワーク		その他成果(品)及びその活用等	/	公民館の認知度のup	公民館は楽しめる場所として期待されている	
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	定員を超える申し込みがあり、ニーズは高い		必要性(平均値)	4	様々な地域課題を多くの人に理解してもらうために必要な事業	
	有効性(平均値)	4	高齢者に必要な知識を提供できた		有効性(平均値)	4	アンケートからも満足度の高さが伺える	
	効率性(平均値)	4	予算削減の中、講座開催にこぎつけた		効率性(平均値)	4	他館に比べて少ない事業費でやれている	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	ニーズの高い講座であることから、予算がない中でも工夫しながら継続したい				企画運営体制が硬直化している部分もあるため、その修正を図りたい			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		1				4		
	<コメント> 地域の人が講座を楽しみにしているのが伝わってくる。予算がない中でも工夫をして継続して行きたい				<コメント> 他機関、活動協力員、ボランティア等の力を借りて、講座を提供できている。今後も新しいテーマ探しに努めたい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

〇〇区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

令和2年度 新潟市公民館事業の基本方針

1 はじめに

新潟市教育委員会は令和2年3月、新潟市教育ビジョン第4期実施計画を策定しました。この計画では、学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくりを通して「これからの社会をたくましく生き抜く力」を育成することが、中心的な考え方として掲げられています。また「学校教育」、「生涯学習」、「教育行政」の各分野の施策が示され、「生涯学習」においては、「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」、「多様なニーズに応じた学習機会の充実」、「生涯学習・社会教育の推進を支える基盤整備」の3つに取り組むことがうたわれています。

今日の少子・超高齢化による人口構成の変化や人口減少、ICTの発展による高度情報社会の到来、自然災害の多発、さらには地域コミュニティや人間関係の変容に伴い、これからの社会では、地域課題の解決や地域活性化を推し進める人材の育成が重要になってきました。

このような中で、公民館は、地域課題や社会の課題に向き合い、子どもから高齢者まで世代に応じた学びの場を充実させ、その成果を地域で活かすとともに新たなつながりを広げることによって、安心して暮らせる地域づくりを進めていくことが今まで以上に求められています。

2 基本方針

(1) 社会の変化や市民の多様なニーズに応じた学習機会の充実

社会状況の激しい変化に対応できるように、子育てや家庭教育の支援、青少年の健全育成や高齢者の学習機会の充実など、各世代の学びの場の提供と支援に努めます。

(2) 学・社・民の融合による地域の教育力の向上

学校、家庭、地域そして公民館等の社会教育施設が連携・協力しながら、地域社会全体の教育力の向上に努めます。

(3) 自信をもって自己実現していける市民の育成

人とのかわりの中で互いに考えを伝え合い合意形成を図るなど学習者の自己肯定感を高めるような学習機会の提供を通して、変化の激しいこれからの社会で自己実現していくことができる力を高めます。

(4) 学びの循環を活かした地域コミュニティの形成・活性化への支援

学びを通して、地域の課題・生活上の課題を把握し、解決に向けて取り組むことで、地域での絆をつくり、コミュニティの形成と活性化に努めます。

3 基本施策

- (1) 人づくり、地域づくりを通じた地域コミュニティ活動の活性化への支援
- (2) 家庭における教育力向上の支援
- (3) 青少年の生き抜く力を育む機会の充実
- (4) 高齢者の学習支援や社会参加の促進
- (5) 現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供

4 事業実施と評価

各公民館は、基本方針を基に地域の実情やニーズにあわせた事業を実施し、事業実施後は、事業の内容や成果について評価を行い、今後の公民館事業の充実を図ります。

令和 2 年度公民館の主な予算について (中央・鳥屋野・東地区・関屋分)

(歳入)

(単位 円)

名称	収入額	内容
公民館使用料	9,134,000	サークルなどの貸館による使用料
	【内訳】 中央 4,581,000 鳥屋野 1,583,000 東 1,572,000 関屋 1,398,000	
建物貸付料	320,000	自動販売機設置業者からの賃料
教育費雑入	875,000	コピー機の利用料など

(歳出)

(単位 円)

名称	支出額	内容
地域コミュニティ活動活性化支援事業	263,000	地域コミュニティ活動の活性化を支援するために、コミュニティ協議会等の地域団体と連携しながら、地域課題解決のために必要な事業を実施するとともに、地域活動を担う人材の育成を支援する。また、地域課題に取り組む人材や団体のつなぎ役となるコミュニティコーディネーターの育成講座を実施する。
	【内訳】 中央 74,000 鳥屋野 53,000 東 44,000 関屋 92,000	
家庭教育振興事業	3,491,000	子育て期の親等に子育てに関する学習機会を提供し、親同士の仲間づくりを推進するために、出産前から思春期までの家庭教育学級を開催するとともに、子育てに関する情報交換の場の設置など、子育て支援事業を実施することにより、家庭の教育力向上を図る。
	【内訳】 中央 2,569,000 鳥屋野 377,000 東 306,000 関屋 239,000	

(歳出)

(単位 円)

名称	支出額	内容
公民館事業	680,000 【内訳】 中央 213,000 鳥屋野 182,000 東 143,000 関屋 142,000	生涯学習社会にふさわしいひとづくり，地域づくりを目指し，市民の学習活動を支援する。
子ども体験活動・ボランティア活動推進事業	271,000 【内訳】 中央 141,000 鳥屋野 27,000 東 39,000 関屋 64,000	土日や長期休業期間に子どもたちに様々な野外活動やものづくり等の体験型事業を実施し、子どもたちの健全育成を図る。
施設の管理運営費	23,623,000 【内訳】 中央 1,770,000 鳥屋野・東・関屋 21,853,000	公民館施設の修繕や清掃・警備などの委託契約、物品購入などに係る経費。 ※中央公民館（クロスバル）の維持管理費の大半は、生涯学習センター予算で別に賄っています。

【鳥屋野地区・関屋地区公民館の改修工事に伴う休館について】

上記2館について、空調設備の更新工事のため、令和2年11月1日～令和3年3月31日の間、施設を休館いたします。

休館期間中も、職員は常駐し、他の施設を利用して主催事業を行います。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための公民館の対応について

■貸館について

□経緯

4月23日～5月17日 臨時休館

5月18日～ 再開

□感染症防止対策

施設管理者向けガイドラインを作成

消毒液の設置，職員のマスク着用を徹底，窓口にビニールシートを設置するなどの対応を実施

施設利用者向けガイドライン，チェックリストを作成

社会教育施設等で行われる活動に係る基本的な考え方を示した

■主催事業について

□経緯

2月29日～3月31日 中止

4月1日～4月22日 保育付き事業など一部事業を除き再開

4月23日～5月31日 中止

6月1日～ あたらしい生活様式を踏まえた内容で再開

□実施の基準

基本的事項

三密を回避する（定期的な換気，人と人との間隔をあける など）

事業の前後は手指の消毒等を行う

職員，参加者はマスクを着用する

講座内容

受講生どうしが近距離での会話・接触があるものや、大きな声を出したり、激しい呼吸をしたりするものなど、飛沫が発生しやすいメニューは「新しい生活様式」を踏まえた上で、十分な対策をとる

参加人数

会場収容定員の半分以下

参加者

参加者が特定できるようにする

保育室

新たに作成したガイドラインに基づき再開予定

新しい生活様式に基づく新潟市社会教育施設等 利用ガイドライン

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染拡大の防止と社会教育施設等での活動の両立を進めるために、「新しい生活様式」の実践を図りながら、社会教育施設等で行われる活動に係る基本的な考え方を示すものです。

なお、状況の変化があった場合には、本ガイドラインの見直しなどを行うことがあります。

「新しい生活様式」とは（実践例）

（1）一人ひとりの基本的感染対策

感染対策の3つの基本 ①身体的距離の確保②マスクの着用③手洗い

- 人との距離は、できるだけ2m空ける
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 手洗いは30秒程度かけて、水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒液の使用も可）

（2）日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに手洗い、手指消毒 □ 咳エチケットの徹底 □ こまめに換気
- 身体的距離の確保 □ 「3密」の回避（密集・密接・密閉）
- 毎朝 体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

1 基本的な感染症対策を実施する

- 体調不良の方の活動自粛
 - ・ 発熱等の風邪の症状がみられる時や体調がすぐれない方の利用は控える。
- 感染予防・感染拡大を防ぐ
 - ・ 入館の際には、手洗いや手指の消毒を行うこと。
 - ・ 施設内ではマスクの着用、咳エチケットを徹底すること。

◎「3密」（密集・密接・密閉）を徹底的に回避した上で活動する

密集しない 多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮を行う。

（対策例）

- ・ 人の密度を下げるために、長机1台につき、一人など、席の配置を考慮する。
- ・ 対人距離を確保して活動する。（できるだけ四方2mを空けることを目安に）なるべく、対面方式は避ける。
- ・ 利用人数は1000人又は、収容定員の50%のいずれか小さい方の人数とする。

密接しない 飛沫を発生させないように、工夫する。

(対策例)

- ・ 近距離での会話や発声の際はマスクを使用
- ・ 大声を出したり、歌を歌ったりする時は、十分人との間隔を確保し、一方向に向けて活動すること。(マイクを利用する時は、利用者毎に拭くなど感染予防に十分配慮する)
- ・ 息が上がる激しい活動の際は、より一層距離を空ける。
- ・ 特に、飛沫や唾液が床に落ちるような活動を行った後は床を拭く。
- ・ 飲食を伴う活動を行う場合は、手洗いを徹底し、飛沫を発生させないようにする。また、対面での会食を避け、会話は控える。

密閉しない 換気を徹底する。

(対策例)

- ・ 可能であれば2方向の窓を同時に開けること。
- ・ それが難しい場合でも、1時間に10分は窓を開けて換気を行う。
- ・ 活動前に新型コロナウイルス感染症対策チェックリストを確認し、対策を講じる。利用終了後、チェックリストや参加者名簿を記載し、記載したものは、各団体に保管する。
- ・ 活動終了後の会話は控え、できるだけ速やかに退館する。

2 イベントの実施について(市主催のイベント等開催基準から抜粋)

【開催判断の目安】

- ・ 参加人数は5000人又は、収容定員の50%のいずれか小さい方
- ・ 密閉空間での大声の発声や歌唱、又は接近した距離での会話等は十分留意する。
- ・ 参加者が特定できる。

3 特に注意する活動

○ 集団感染リスクが高い下記の活動は、十分に対策をとること。

- 大きな声を出すことや歌うこと
(例)・合唱、カラオケ、詩吟、民謡、謡曲 など
- 専ら運動することを目的とした活動
(例)・踊り、ダンス、体操、運動 など
- 調理、会食を伴う活動
- 密接が避けられない活動
(例)・囲碁、将棋、麻雀 など

4 活動日の参加者を把握する

参加者名簿を作成し、連絡先を把握しておいてください。(感染者が出た場合に追跡を可能にするための措置。提出は不要。利用団体が2週間保管する)

5 利用を中止する部屋など

- ・換気ができない部屋の利用は当面の間中止

6 本ガイドライン対象施設（教育委員会所管施設）

対象施設名	問い合わせ先
クロスパルにいがた	クロスパルにいがた（生涯学習センター） 025-224-2088
公民館（42館）	中央公民館 025-224-2088
ゆいぽーと （芸術創造村・国際青少年センター）	ゆいぽーと（芸術創造村・国際青少年センター） 025-201-7530
オール （若者支援センター）	オール（若者支援センター） 025-247-6781
白根学習館	白根地区公民館 025-372-5533
西川学習館	西川地区公民館 0256-88-2334
西川多目的ホール	西川図書館 0256-88-0001
入徳館野外研修場	巻地区公民館 0256-72-3329

7 適用期間

本ガイドラインの適用は令和2年6月19日(金)から当面の間とし、状況の変化があった場合には見直す。

新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト
【令和2年6月19日から適用】

団体名 _____

利用日 令和 年 月 日 (曜日)

利用時間 _____ ~ _____

部 屋 _____

【ご利用いただく前に】

活動を始める前に参加者全員でご確認ください。

万が一感染者が出た場合に、追跡を可能とするため、当日の参加者を裏面に記載してください。記載した名簿は、各団体で2週間保管してください。

	感 染 症 対 策	チェック欄
1	発熱等の風邪の症状がみられる参加者はいない。	
2	全員マスクを着用する。但し、熱中症などに十分気をつけること。	
3	活動開始前の手洗い、または手指の消毒を行う。	
4	1000人又は、収容定員の50%のいずれか小さい方の人数で利用する。	
5	近距離での会話は控え、参加者同士の距離をできるだけ2m程度（手の届く距離）空ける。	
6	大声での発声や歌を歌ったりする時は、十分人との距離を確保し、一方向に向けて活動する。	
7	息が上がる激しい活動の際は、より一層距離を空ける。	
8	飲食を伴う活動の場合は、手洗いの徹底、対面での会食を避ける、会話を控える等の対応を行う。	
9	直接、手と手の接触など身体的接触のある活動は行わない。	
10	窓を開けて実施するか、定期的な換気を行う。可能であれば2方向の窓を同時に開け、50分活動したら休憩し、換気を10分行う。	
11	当日の参加者を裏面に記載し、感染者が出た場合には参加者に連絡できる体制をとる。（感染者が出た場合に追跡を可能とするため）	

令和2年度事業計画および実施状況(7月末現在)

■ 新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受けた講座
 ■ 中止となった講座の代替講座として実施するもの

資料6

基本施策	館名	No.	事業名	事業の目的	新規	居場所	開設数	対象	回数	時間帯	参加者数(人)	延べ参加者数(人)	連携				備考	コロナウイルスによる影響	
													学校	地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会	活動協力員(人)			
中央	鳥屋野	6	ブレママ学校	妊娠中の親が安心して子育てができるように、学習機会を設けるとともに、仲間づくりを進める			1	成人	1										
		7	ブレママ学校同窓会(Zoomオンライン講座)	ブレママ学校参加者が出産後に子育てについて共有し、学び合う機会を提供する			1	成人	2	午前	8	12		○		2		Zoomを活用したオンライン講座 R1年度開催できなかった同窓会を延期して開催	
		8	父親学級	小学生の子どもを持つ父親を対象に、父親が子育てについて学ぶとともに、親子のコミュニケーションを図る			1	成人	7										
		9	保育者研修会	全市域の登録保育者の資質向上、情報交換			1	成人	1										
		10	中央公民館保育者交流会	保育者と保育室運営等に係る情報交換会			1	成人	1										4月から8月に延期予定
		11	ひよこファミリーらんど(スタッフ研修会)	乳幼児と保護者のフリースペース	◎	1	総合	70											4/21～5/26は中止
		12	子育て学習出前講座	就学児健診や入学説明会など保護者が集まる機会を利用し、家庭教育の大切さを学んでもらう			1	成人	111										
		13	乳児期家庭教育学級(第2期)	乳児期の家庭教育について考える。(保育あり)			1	成人	5										中止
		13-2代替	乳児期家庭教育学級	乳児期の家庭教育について考える。(保育なし)			1	成人	2										保育ありの代替で、保育なしで実施予定
		14	幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育について考える。			1	成人	4										保育なし・親子対象で1回実施予定
		15	児童期・思春期家庭教育学級	児童期・思春期の家庭教育について考える。			1	成人	1										
		16	保育者交流会	保育者との情報交換			1	成人	1										延期
	17	子育てサロン	親子の居場所づくり	◎	1	総合	12											7月からボランティアスタッフなしで実施	
	18	子育てサロンスタッフ研修	子育てサロンスタッフ対象の研修会			1	総合	1											
	東	鳥屋野	19	児童期家庭教育学習会	家庭教育小学校出前型(沼垂小学校)			1	成人	1	午後	71	71	○	○				
					企画会議			1	成人	1	午後	1	1		○				
			20	児童期家庭教育学習会	家庭教育小学校出前型(PTAと共催)(笹口小学校)			1	成人	1									
					企画会議			1	成人	2									
21		乳児期家庭教育学級(第1期)	乳児期の家庭教育について考える。(保育あり)			1	成人	5									中止		
21-2代替		乳児期家庭教育学級	乳児期の家庭教育について考える			1	成人	7									保育実施 東地域保健センター、中央図書館と連携	ゆりかご中止、同じ対象者で自主開催	
関屋		22	幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育について考える			1	成人	4									保育実施 中央図書館と連携	
				企画会議			1	成人	4										
		23	幼児期家庭教育学級 土曜日版	ふれあい遊びを通じて、親と子の関わり方について学ぶ			1	総合	4										
		24	子育てサロン	子育ての情報交換と交流	◎	1	総合	38										ボランティアスタッフ、絵本を楽しむ会、万代長瀬地区民児協、東地域保健福祉センターと連携	
25	保育者交流会	保育者との保育室運営等に係る情報交換			1	成人	1												
関屋	26	乳児期家庭教育学級コロちゃんる一む	乳児期の家庭教育のあり方を考える(従来の形から実施方法を見直し)			1	成人	5											
	27	幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育のあり方を考える			1	成人	3											
	28	子育てネットまつぼっくり	子育て交流や情報交換を行う	◎	1	総合	49										4・5月は中止		

(前ページからのつづき)
 2. 家庭における教育力向上の支援

令和2年度事業計画および実施状況(7月末現在)

■ 新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受けた講座
 ■ 中止となった講座の代替講座として実施するもの

資料6

基本施策	館名	No.	事業名	事業の目的	新規	居場所	開設数	対象	回数	時間帯	参加者数(人)	延べ参加者数(人)	連携				備考	コロナウイルスによる影響	
													学校	地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会	活動協力員(人)			
(前ページからのつづき) 6. その他	東	5	グループ活性化事業 公民館まつり	公民館利用グループでの体験教室			1	総合	20										
		6	自主グループ育成事業	自主グループの育成及び支援			1	総合	2										
		7	地域連携講座	地域の歴史について学び、地域活性化を図り図書館の利用拡大を図る	◎		1	総合	1										
		8	長嶺世代間交流	地域における世代間交流を図り、地域の絆を深める	◎		1	総合	1										
	関屋	9	初級登山教室	安全で楽しい登山普及のため知識・技能を習得する			1	成人	6								利用団体と連携	中止	
				企画会議			1	成人	4										
		10	公民館活動協力員との協働事業	活動協力員との事業企画・実施			1	成人	1										
				企画会議			1	成人	3										
		11	世代間交流の集い	関屋中学校卓球クラブと利用団体との交流			1	総合	1								利用団体と連携	中止	
		12	ランナーズコミュニティ	ランニングを趣味とする市民の交流の場をつくる	◎		1	総合	6										中止
		13	自主サークル育成事業	自主サークルの育成及び支援			1	総合	8									利用団体と連携	
		14	文化祭	利用団体が学習の成果を発表するとともに、団体相互の親睦及び地域住民との交流を図る			1	総合	1									利用団体と連携	中止
		合計		講座数:108講座			11	13					105	131				5	

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため影響を受けた講座内訳

- 中止となった事業・・・17講座
- 講座プログラムの一部が中止となった事業・・・16講座
- 内容を変更して実施した事業・・・7講座
- 延期となった事業・・・1講座
- 中止事業の代替講座として企画された事業・・・3講座